

# 第5学年 外国語科学習指導案

令和5年10月25日(水)  
5校時 13時40分-14時25分  
5年1組 15名  
指導者 貝ヶ石 旭  
Steven Seritti (ALT)

1.単元名 レオ君に行きたい都道府県を紹介しよう  
(ONE WORLD Smiles 5 Lesson6 「Where do you want to go?」)

## 2.単元について

### 教材観

- 本教材では、国内の観光地や食べ物、行事などを取扱い、自分が行ってみたい都道府県やしてみたいことを表現する中で、自国の魅力に気づくことが期待できる。
- 疑問詞 Where do you want to go?, I want to～.を使って、自分の行きたい場所について表現し、状態や動作を表す語を使って、自分の考えや気持ちを表現することができるようになる。

### 児童観

- アルファベットについては、何も見ずに4線に沿って書ける児童は少数で、4線に正しく書き写すことに課題が見られる。しかし、音と字形の関係はおおむね理解しているように思われる。
- また、令和3年度及び令和4年度に実施した英検 ESG の結果から、技能別の得点率が50%以下の生徒の人数を見ると、課題がある技能はリスニングであった。本学年の児童も、その傾向にある可能性が推察される。

	リスニング	リーディング	スピーキング	ライティング
令和3年度6年生(20人)	3人(15.0%)	1人(5.0%)	0人	1人(5.0%)
令和4年度6年生(13人)	2人(15.4%)	0人	0人	0人

- Lesson4 『This is my dream day』の聞くことに関する単元テストでは、平均8.6点(10点満点中)であった。授業で聞いた文をすぐに言語活動の中で活用することは難しく、何度もゆっくり聞くことで、少しずつ自分でも扱うことができるようになる。

### 指導観

以上で述べた児童の実態に応じるため、単元を通して以下の点を指導する。

#### ○学習の見通しを持たせる工夫

単元のゴールで習得を目指す表現を Small Talk で繰り返し扱い、目指す表現に児童が慣れ親しむ機会を充実させるとともに、モデルとなる会話に触れることによって学びの見通しを持たせる。また、毎時間単元との関連を確認し、単元のゴールを児童と常に共有する。

#### ○学びの蓄積による確かな資質・能力の育成

各時間で学んだ英語表現をロイロノートに記録し、前時までの学習を振り返りながら自分の表現を確かなものにしたり充実させたりすることによって、単元を通して目指す資質・能力の育成につなげる。

#### ○言語活動の充実

相手によりよく伝わるための工夫として、形容詞 (beautiful, delicious 等) を使うことの効果に気付かせながら、繰り返し活動を仕組む。また、本時のねらいの達成につなげる中間指導も充実させ、児童のやり取り(言語活動)から気付きを促したりや困り解決したりするなど、個の学びと全体の学びを往還させる。

### 3. 単元の目標

レオ君と一緒にいきたい都道府県を紹介するために、国内の観光地や食べ物、行事などについて、自分の考えや気持ちなどを伝えたりすることができるようにする。

### 4. 言語材料

Where do you want go?/I want to go to 地名./When do you want to go to 地名?/In summer/You can (eat・see・buy~) in 地名./ I want to (eat・see・buy~) ./ I can (eat・see・buy~) ./Do you want to go to 地名?/It's~(beautiful・delicious~)

### 5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<p>&lt;知識&gt; Where で始まる疑問文 Where do you want to go?とその答え方について理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 行ってみたい都道府県やその理由について伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>レオ君と一緒に行ってみたい都道府県を紹介するために、行ってみたい都道府県とその理由について、自分の考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>レオ君と一緒に行ってみたい都道府県を紹介するために、行ってみたい都道府県とその理由について、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。</p>

### 6. 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと [発表]	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
--------------	---

### 7. 単元計画

指導と評価の計画 (全6時間)

指導に生かす評価：○ 記録に残す評価：◎

時	学習内容	評価			
		知	思	主	評価規準 【評価方法】
1	<p>○レオ君と一緒に行ってみたい都道府県や、そこでやってみたいことなどについての表現を理解することが、本単元のゴールであることを知る。</p> <p>Small Talk「知っている県の紹介」 めあて「各都道府県の知っていることを伝えよう」</p>	○			<p>〔知識・技能〕</p> <p>Where で始める疑問文とその答え方について理解している (観察)。</p> <p>行きたい都道府県や、そこでやりたいことを聞き取っている。</p> <p>【ロイロノート】</p>
2	<p>○レオ君と行ってみたい都道府県についてやりとりを聞いて概要をつかみ、聞き取った情報をもとに、自分の行きたい場所を選んで伝えることができる。</p> <p>Small Talk「行ってみたい都道府県」 めあて「行きたい都道府県を友だちに伝えよう」</p>	○	○		<p>〔思考・判断・表現〕</p> <p>行きたい場所について I want to go to ~.の意味を理解し、自分の行きたい都道府県を選んで概要を聞き取っている。</p> <p>【行動観察】</p>
3	<p>○レオ君と行きたい都道府県について、行きたい理由を含めて友だちに伝えることができる。</p> <p>Small Talk「行きたい都道府県とそこでやりたいこと / (できること)」 めあて「行きたいところをしたいことも合わせて友だちに伝えよう」</p>	○			<p>〔知識・技能〕</p> <p>I want to ~.の表現を使って自分の行きたい都道府県に理由を加えて伝えている。</p> <p>【行動観察・ロイロノート】</p>
4	<p>○レオ君と行きたい都道府県についてとその理由について友だちと伝え合うことができる。</p>	○			<p>〔知識・技能〕</p> <p>Where do you want to go?</p>

本時	Small Talk 「行きたい都道府県はどこ？」 めあて「行きたい都道府県とその理由について伝え合おう」				I want to go to ~.を使って自分の考えや気持ちを含めて行きたいところを伝えている。 【行動観察・ロイロノート】
5	○レオ君と行ってみたい都道府県について、紹介することができる。撮影した動画を確認しながら、ペアで修正することができる。 めあて「レオ君と行ってみたい都道府県を紹介し、よりよい言い方を考えよう」 Small Talk 「きれいな海で泳げることが楽しみ！」		○	○	〔思考・判断・表現〕 《レオ君と一緒に自分の行きたい都道府県を紹介するために、理由や自分の気持ちなどを加えて》伝えている。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 《同上》伝えようとしている。 【動画撮影】
6	○行きたい都道府県について相手に伝わるよう内容を整理し、自分の考えや気持ちなどを話すことができる めあて「行きたい都道府県を紹介しよう」 Lesson's Goal レオ君に行きたい都道府県を紹介しよう	◎	◎	◎	〔知識・技能〕 ※単元の評価規準と同様 〔思考・判断・表現〕 ※単元の評価規準と同様 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ※単元の評価規準と同様 【動画撮影】

## 8. 本時の指導 (4/6 時間)

### (1) 本時のねらい

レオ君と行ってみたい都道府県とその理由について、学級担任と ALT のモデル会話を聞いて本時で学習する表現を推測したり、形容詞を活用すれば表現内容の充実につながることに気づき、それを踏まえて友だちとやり取りしたりすることを通して、自分の考えや気持ちを含めて伝え合うことができるようにする。

### (2) 展開

時	学習活動	指導上の留意点	評価
5	1. 始めのあいさつをする。	○挨拶をし、体調・天気・日付について尋ねる。 ○ロイロノートに記録しておいた、前時の自分の表現内容を振り返らせる。	
33	2. JTE と ALT の Small Talk を聞いて、本時の学習の見通しをもつ。  3. 本時のめあてを確認する	○JTE と ALT が行ってみたい都道府県とその理由に関する会話をを行い、児童に会話の内容を予想させる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>JTE: Hi, Steven. ALT: Hi Akira. Where do you want to go? JTE: I want to go to Hokkaido ALT: Oh, that's good! Why? JTE: I want to see Sapporo Yukimaturi. I can see big snow statue. It's beautiful. ALT: Oh. I see!</p> </div> ○単元のゴールを確認した上で、本時のめあてを位置付ける。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【Lesson's Goal】レオ君に行きたい都道府県を紹介しよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【Today's Goal】レオ君と行ってみたい都道府県とその理由について伝え合おう</p> </div>	

	<p>4.レオ君と一緒にいきたい都道府県について、友達と伝え合う。</p> <p>5.JTE と ALT のやり取りから気付いたことを踏まえて、再度、いきたい都道府県について友達と伝え合う。</p> <p>6.学んだことを生かして、多くの友達といきたい都道府県について伝え合う。</p>	<p>○JTE と ALT の Small talk を基にして、レオ君といきたい都道府県についてペアで尋ね合わせる。</p> <p>○児童の困りを確認し、学級全体で解決を図る</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【想定される困り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Where do you want to go? が言えない。</li> <li>・ 英単語がわからない。</li> <li>・ 自分の気持ちを表せない。</li> </ul> <p>【解決方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JTE と ALT のやり取りを見せる。</li> <li>・ ALT の見本から修正・付け加えをする。</li> <li>・ 友だちの例から学ぶ。</li> <li>・ 教科書から表現を探す。</li> </ul> </div> <p>・ 必要に応じて教科書 p 70 を確認する。</p> <p>・ JTE と ALT とのやり取りから形容詞を使うことに気付かせる。</p> <p>○形容詞を使って、ペアでレオ君と一緒にいきたい都道府県について尋ね合わせる。</p> <p>○児童の中から、全体にとってモデルとなるペアを取り上げて紹介し、表現内容の充実につなげる。</p> <p>○本時で学んだ表現をもとに、できるだけ多くの人と交流させる。</p>	<p>〔知識・技能〕</p> <p>Where do you want to go?</p> <p>I want to go to ~.</p> <p>を使って自分の考えや気持ちを含めていきたいところを伝えている。【行動観察・ロイロノート】</p>
8	7.本時の学びを振り返る。	<p>○本時の学びを残し、次時につなげるために動画を撮影する。</p> <p>○わかったことやできるようになったこと、次回に生かしていきたいところを振り返りとして書く。</p>	

【単元のゴールで目指す児童の姿】

Hello.

I want to go to Okinawa.

I want to eat Mangoes.

I can swim in the beautiful sea.

It's wonderful.

Where do you want to go?